

E 学生・教職員・OB・生協がともに活動 サプライチェーン&学生活動

簡単&続けられるリサイクル活動を実施

金沢大学生協の環境負荷軽減活動

リサイクルトレーを使用した弁当容器「リリパック」、自動販売機飲料の紙カップのデジボット式回収機、オリジナルエコバッグの無料配布にも取り組んでいます。



金沢大学
オリジナルエコバッグ

フィルムがはがせる弁当容器
「リリパック」

角間キャンパスの環境保全を支える

金沢大学キャンパス環境整備の会

工学部の有志を中心とした退職者によるボランティア組織。草刈りなどキャンパスの環境保全に貢献しています。



紙カップの
デジボット式回収機

学生ボランティアも増えてきた!

大学通学路クリーン作戦

学生ボランティアグループ「ラクーン」が中心となり実施。学生・大学生協・教職員・市民が通学路のゴミを収集しました。

金大生限定! 毎年恒例の人気市

金沢大学第6回学生リユース市

卒業生が新入生のために生活用品を格安で提供。再利用から経費節減と環境保全につながることを目指しています。



大学通学路クリーン作戦の様子

F 私たちにできる支援をすぐに実践 東日本大震災への取り組み

安否確認と被災学生への支援に活用

金沢大学緊急連絡システム(C-SIREN)

独自で開発したシステムを使い、震災後の3月末、全在校生に対して安否確認を行いました。また、義援金や救援物資の提供、関連テーマの講演会やセミナーを開催しました。

2011年4月から翌年3月まで14次派遣

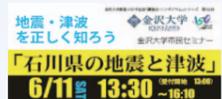
被災地への学生ボランティア派遣活動

派遣に先立ち、現地の状況や被災地入りの注意などの情報交換やボランティア講習を開催。12月には学生による運営組織「ボランティアさぼーとステーション」が結成されました。

福島原発事故後の学内外での活動

角間キャンパスでの放射能測定等の活動

放射能汚染が問題となる中、一般向けの講演会の開催、研究開発、官公庁や自治体から依頼調査などを実施。アイソトープ理工系研究施設では放射線測定を続けています。



金沢大学市民セミナーのポスター



第2次派遣時のボランティアメンバー(陸前高田市立広田小学校にて)

北陸地域への放射線物質の拡散状況を把握

低レベル放射能実験施設における放射能測定等の活動

環日本海域環境研究センターでは、大気エアロゾル観測試料と輪島市の大気観測試料を分析。大気拡散により放射性物質が到達したことを明らかにしました。



福島での土壌汚染調査

金沢大学環境方針

(基本理念)

金沢大学は、総合大学のもつ多様性を個性的に発揮することで、21世紀の時代を担う有為な人材の育成と知の創成に努めることとしている。地域における知の拠点である本学が、このような目的をもって教育・研究・診療・社会貢献等の活動を推進するために、将来の世代と地球に対する責任を自覚し、人間と自然とが調和・共生する持続可能な社会の構築を柱とした環境方針を掲げるものとする。

(基本方針)

- 1 金沢大学は、環境ESD(Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育)を充実し、持続可能な社会の構築に貢献する人材の育成に努める。
- 2 金沢大学は、環境技術、環境計測、環境政策、環境医科学、生物多様性など、幅広い分野で世界的な視野に立ちながら地域の特性を生かした環境に関する研究を推進する。
- 3 金沢大学は、本学が実施するあらゆる活動において、環境に関する法規・規制・協定等を順守する。
- 4 金沢大学は、本学の活動が環境に及ぼす影響を調査・解析し、資源・エネルギーの使用量削減、温室効果ガスの削減、化学物質の安全かつ適正な管理、廃棄物の適正処理や再利用・再資源化、自然環境の保全管理等に積極的に取り組むことにより、環境負荷の低減に努める。
- 5 金沢大学は、環境に関わる知的成果を含むあらゆる情報を社会に還元・公開し、環境問題に対する啓発に努める。
- 6 金沢大学は、以上の環境方針を実現するための総合的なマネジメントシステムに基づき、継続的に目的・目標を定め、全ての大学構成員が協力してその達成に努める。

2012年4月1日

金沢大学長 **中村信一**

(金沢大学環境マネジメントシステム)

全学がひとつとなって委員会やチームを組織。PDCAサイクルによる継続的改善と実行力アップに努めています。



金沢大学エコアクション2012
金沢大学環境報告書2012ダイジェスト
2012年9月発行

報告対象期間: 2011年度(2011年4月~2012年3月)
発行: 金沢大学
お問合せ先: 金沢大学 施設管理部 施設環境管理室
〒920-1192 金沢市角間町(自然科学5号館1階)
TEL.076-264-5146 FAX.076-234-4033
e-mail kankyo@adm.kanazawa-u.ac.jp

大切な地球と暮らしを守るため、
キャンパス、地域、世界をフィールドに、
さまざまな活動を展開しています。
学生と教職員がともに取り組む、
金沢大学の熱いチャレンジを紹介します。

金沢大学 エコアクション 2012

金沢大学環境報告書2012ダイジェスト

Environmental Management Report,
KANAZAWA University 2012



残そう 未来の家族に 緑の地球を



金沢大学の環境活動って？

A 世界が求めるテーマ・分野が続々登場 環境教育と研究

共通教育特設環境プログラムの一つ

環境・ESDリテラシー

資源・エネルギー・食糧・人口・気候・少子高齢化・地方文化衰退などの諸問題を理解し、持続可能な社会に向けた研究力と問題解決力をもつ人材を育成します。

グローバルな視点で環境を考える

英語Ⅲ (英語で学ぶ文化/環境と健康の関わり)

共通教育言語科目の一つです。国内外の環境と健康、感染症との関わりを英語で学び、その文化的背景を理解。環境問題への対策を考えます。

角間キャンパスと能登半島で実施

里山と里海の体験実習

角間キャンパスの里山ゾーンでは生物多様性と生態系を学び、里山の利活用を考察。能登では里山里海の現状と課題から、今後の持続的発展の道を論議しました。



伝統的手法による焼畑 (里山体験実習in角間)



森林組合員の指導によるツリークライミング (里山体験実習in角間)

東アジアの環境保全に向けて

日中韓環境・エコ技術特別コース

日中韓の学生を受け入れ、実践的環境技術者養成に特化した大学院教育を行っています。国を超えて協力しあえるエコ・エンジニアの養成を目指しています。

東アジア諸国と連携のもと

大気環境管理の改善に向けた地域協力の枠組みづくり

急速な経済成長と都市化に伴い、大気汚染問題が深刻化する東アジア地域。他機関との共同研究により、その改善と新課題への対応に向けた提案を行っています。

エネルギー生産技術開発の研究拠点

サステナブルエネルギー研究センター(RSET)

炭素循環を効率化するためのCO₂、石炭灰、排熱の有効活用や再資源化促進。エネルギー・環境材料部門では、重相構造プラズマの構造解明と応用技術の創出を行います。



微細藻類(植物プランクトン)ボトリオコッカ。海洋バイオマスの研究開発も進めています。



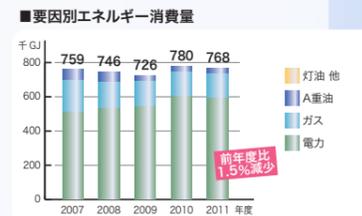
Gaobeidian下水処理場の見学

B 環境負荷の少ないエコキャンパスへ! 環境への配慮

日常的な取り組みの成果

エネルギー消費/省エネルギーの取り組み

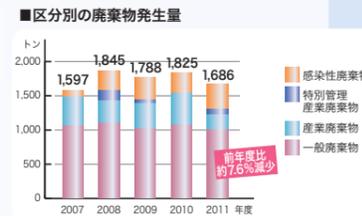
夏季一斉休業・室内空調管理などの省エネ活動により、エネルギー消費は前年度比で1.5%減少しました。



通勤通学時の排出量軽減も

温室効果ガス(CO₂)の排出と抑制策

地域電力会社の排出係数が増えたため、CO₂排出量は前年度比で約6%増加。通勤通学時の公共交通機関の利用も促進しています。



学生向けの廃棄物分別パンフレットを作成

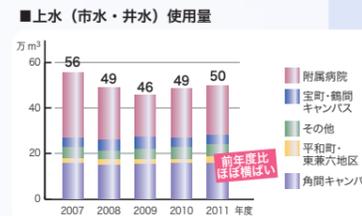
廃棄物の排出抑制と再資源化(リサイクル)

教育や研究で発生する廃棄物は分別回収を徹底。古紙・ペットボトル等はリサイクル業者へ委託しています。

日常の節水をさらに徹底

水資源の利用状況

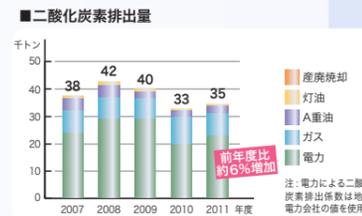
前年度比はほぼ横ばい。井戸水の利用や節水のための設備改修などを行っています。



法令に基づいて把握・管理

大気汚染物質の排出と抑制策/特定化学物質の排出・移動量(PRTR)

ボイラーなどの大気排出濃度を測定した結果、法令基準値を大幅に下回っていました。化学物質はPRTR法に従って報告しています。公共水域や土壌への排出や埋め立て処分はありませんでした。



環境物品等の調達を推進

グリーン購入の推進/紙類購入量

グリーン購入は全分野で目標達成。品目では紙類など6品目が達成できませんでした。紙類の購入量は2009年以降、ほぼ横ばいとなっています。

全国に先駆け設置された環境保全施設

環境保全センター30周年記念式典・記念講演会

式典に続いて、「環境予防医学の新たな試み」と題して特別講演が行われました。同センターは廃液・廃棄物の管理・処理の他、環境教育や研究を推進する役割を担っています。



石碑「草木(くさき)の心」(揮毫 中村信一学長)

自然を慈しむ心を育むために

角間の里「草木(くさき)の心」石碑除幕式

学生や地域の児童・生徒の環境教育の一環として計画。郷土の自然環境を受け継ぎ、自然と共生・共存すること、また環境問題を啓発するシンボルになっています。



草木塔セミナーのポスター

自然に感謝する心や人間との共生を学ぶ

草木塔(そうもくとう)セミナー

「自然の恵みに感謝する草木塔の心」と題した講演では、草木塔のルーツや思想、精神、全国の草木塔の数などが紹介されました。

C 里山ゾーンの活用と体験型イベント 地域・社会貢献活動

安心・安全に暮らせる未来社会づくり

ユネスコスクールの活動支援

教育科目にESD(持続発展教育)を導入する他、シンポジウムや教員向けの講座の開催など、主に北陸地域の学校におけるESDの推進を支援しています。



ESD石川シンポジウムでの子どもたちの発表

「21世紀型の里山キャンパス」の創出へ

角間里山本部の取り組み

角間キャンパスの里山保全と活用を発展させる目的で設立。「管理」「教育・研究」「連携」の3部門が連携しながら、教育・研究利用や地域連携事業を進めています。



里山活動に取り組む学生プロジェクトを支援

5年間で62人の修了生が巣立つ

能登里山マスター養成プログラム

能登の自然と調和し、持続可能な再活性化を目指して、次世代の能登を担う人材を育成。2012年からは奥能登地域4自治体に拠点を設置し、「能登里山里海マスター養成プログラム」を開始しました。



能登いきものマスター養成プログラムのフィールド実習

生物多様性の保全・活用を目指す

能登いきものマスター養成プログラム

能登の里山里海での実践研修を通して、地域の自然、いきものの多様性と生態を理解し、保全・活用する人材を養成します。



「ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー」の実験・実演の様子



「医学展」の「模擬病院」では耳鼻科・整形外科など各科を体験

科学や医学を身近に体験できるイベント

ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー/医学展

子どもや保護者を対象にした理工学域オープンキャンパス「ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー」。医薬保健学域の「医学展」では「模擬病院」が好評でした。

環境保全について理解を深めた2日間

職場体験事業「わく・ワーク」

金沢市内の中学2年生4名が参加。講義の後、環境保全センターで実験系廃液の確認・収集作業を体験しました。



実験系廃液の確認・収集作業を体験する生徒

環境都市金沢の推進に貢献

いいね金沢環境活動賞の受賞

環境教育や研究に関する社会貢献活動が認められ、環境保全センターが「いいね金沢環境活動賞」を受賞しました。

D 活動・講演・情報ツールを通じて深める 環境コミュニケーション

資料や情報面から「環境教育」を支援

環境学コレクションの整備

附属図書館では、外国語資料やDVDを含む約2,000冊のコレクションが利用できます。企業連携事業として、企業とシンポジウムを共同開催しています。



ゼロ・エミッション活動を推進する日産自動車(株)との共同シンポジウム

130余りのサークルを対象に実施

「サークルリーダー研修会」での環境活動に関する活動

環境委員会が「環境報告書2011」ダイジェスト版を配布し、金沢大学のエコアクションを紹介。サークル活動における環境を意識した取り組みを促しました。